



さいたま新都心に一番近い学校

下落合小だより

学校目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

令和 8 年 8 ・ 9 月 号
令和 8 年 8 月 2 6 日
さいたま市立下落合小学校
電話 8 5 2 - 2 2 8 0
F A X 8 5 2 - 0 1 8 8
E-Mail
shimoochiai-e@saitama-city.ed.jp

故郷(ふるさと)での大切な時間

校 長 小田切 倫子

まだまだ残暑が厳しい日が続いていますが、夜になると、秋の虫の声が聞こえるようになりました。

この度の令和 8 年熊本地震及び令和 8 年 8 月千葉豪雨によりお亡くなりになられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様ならびにその御家族、関係者の皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。被災地域の日も早い復旧・復興を、切に願うばかりです。

私はこの夏、故郷である仙台に何度か足を運びました。6 月に母が亡くなり、納骨など諸々の用事があったからです。様々な場所を回りましたが、大人になると、子供の頃の印象とは異なり、町がとても小さく感じるから不思議です。その時々季節のにおいや頬に触れる風の触感、楽しかったことや悔しかったことなど、たくさんの思い出が蘇ります。

母との、とあるエピソードを思い出しました。小学生の頃、私が学校から帰って遊びに行こうとすると、母から「お米屋さんに寄って、お米の注文をしてきてちょうだい」と頼まれました。当時の我が家は、お米と灯油は近くの個人商店から購入し、家まで配達してもらっていました。よく母がそのお店に電話をかけて注文しているのを聞いていましたし、人見知りだった私は、注文するのが恥ずかしくて、「大人が電話で注文した方が、ちゃんと伝わるでしょ」と抵抗してみたのですが、母に、「電話より、ちゃんと顔を合わせて注文の方が丁寧だし、確実でしょ」と言い含められ、子供ながら『確かに…』と納得し、渋々お店に寄って、ドキドキ緊張しながら注文をした思い出です。

このエピソードには、続けて思い出されるもう一つの話があります。時は流れ、この数十年後の私と私の子供とのエピソードです。確か子供が大学生だったので、今から 10 年以上前のことだったと思うのですが、子供がインターネットショッピングで注文しているのを見て、「インターネットなんかで注文して、大丈夫なの？」と声を掛けました。その当時の私は、テレフォンショッピングはしたことはありましたが、インターネットは専ら調べることに使用していて、人と会話をすることなく買い物ができてしまうことに、ある種の“怖さ”を感じていたので、買い物をするなどという考えには及ばなかったからです。すると子供に、「インターネットだと履歴が残るから、電話を切ったら証拠が消えちゃうテレフォンショッピングより安心でしょ」と言われ、『確かに…』と納得した思い出です。

時代とともに生活スタイルや価値観は変わるものです。しかし、どんなに DX や AI などが進化しても、リアルなコミュニケーションが重要であることや、子供時代に吸収することが、思い出を含め自分らしさを形成する上で大切であることは、今も昔も変わりません。

この夏は、時の流れの早さや世の中を取り巻く状況の変化の大きさを痛感するとともに、ここ下落合が故郷（の一つ）となる子どもたちに、豊かな経験や思い出をたくさん残したい、そんなことをしみじみと感じる帰郷となりました。2 学期も、よろしくお願いします。